



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場取引所 東大

上場会社名 燦ホールディングス株式会社
コード番号 9628 URL <http://www.san-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古内 耕太郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 大井 信三

TEL 06-6226-1716

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,197	△4.5	194	△46.1	189	△46.8	69	△56.9
24年3月期第1四半期	4,392	3.4	360	175.5	355	185.2	161	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 69百万円 (△56.9%) 24年3月期第1四半期 161百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	12.40	—
24年3月期第1四半期	28.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
25年3月期第1四半期	25,203	—	19,581	—	77.7	3,486.22
24年3月期	26,172	—	19,623	—	75.0	3,493.82

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 19,581百万円 24年3月期 19,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,640	△2.5	340	△55.3	330	△56.2	70	△80.1	12.46
通期	17,990	△1.6	1,250	△32.5	1,210	△33.6	520	△43.4	92.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	6,082,008 株	24年3月期	6,082,008 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	465,247 株	24年3月期	465,247 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	5,616,761 株	24年3月期1Q	5,616,796 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として、穏やかに回復しつつあり、生産や輸出においても改善の動きがみられるようになってまいりました。先行きについては、欧州政府債務危機等による海外景気の下振れ等によって、景気が下押しされるリスクや、電力供給の制約、デフレの影響等にも注意が必要な状況ではあるものの、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されております。

葬祭市場においては、葬儀に対する社会的関心の高まりを反映し、葬儀業者の信頼性や葬儀費用の透明性が引き続き注目をあびております。また、葬儀の小型化傾向、葬儀単価の下落傾向は依然継続しています。その反面、安定的な需要が予想される葬祭業界においては、新規会館出店を伴う業者間の顧客獲得競争が激しくなっております。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間（以下、当期）の営業収益は41億97百万円（前年同四半期（以下、前年同期）比4.5%減）、営業利益は1億94百万円（前年同期比46.1%減）、経常利益は1億89百万円（前年同期比46.8%減）、四半期純利益は69百万円（前年同期比56.9%減）と、減収減益となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

公益社グループ

公益社グループの中核会社である(株)公益社では、葬儀件数が前年同期比6.7%減少しました。これを規模別・地域別にみると、大規模葬儀（金額5百万円超）の件数はほぼ横ばいで推移しましたが、一般葬の件数は、前年同期比関西圏で7.6%、首都圏で1.5%とともに減少し、トータルで6.7%減少しました。

一方、一般葬の葬儀単価は関西圏で6.3%、首都圏で5.5%とともに向上し、トータルで6.5%向上しました。

葬儀後のサービス事業については、前年同期比減収となりました。主な要因は、香典を辞退する葬儀比率の高まりにより返礼品販売収入が減収となったためです。

この結果、当セグメントの売上高は35億51百万円（前年同期比3.1%減）となり、セグメント利益は21百万円（前年同期比86.6%減）となりました。

葬仙グループ

葬仙グループの(株)葬仙におきましては、葬儀件数が前年同期比5.0%減少したことに加え、葬儀単価も低下したため減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は3億16百万円（前年同期比10.3%減）となり、セグメント損失は20百万円（前年同期は2百万円の損失）となりました。

タライグループ

タライグループの(株)タライにおきましては、葬儀件数は前年同期比20.4%減少となりましたが、葬儀単価の向上が件数減による減収を一部補いました。

この結果、当セグメントの売上高は2億52百万円（前年同期比17.7%減）となり、セグメント利益は14百万円（前年同期比70.8%減）となりました。

持株会社グループ

持株会社グループの燦ホールディングス(株)におきましては、主に、グループ各社からの配当収入が増加したため、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は15億88百万円（前年同期比24.9%増）となり、セグメント利益は8億25百万円（前年同期比68.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、35億36百万円となり、前連結会計年度末比9億13百万円減少しました。主な要因は、税金、賞与、配当等の支払いにより現金及び預金が8億28百万円減少したためです。固定資産は216億67百万円となり、55百万円減少しました。主な要因は、不動産信託受益権が1億9百万円増加した一方、減価償却費の計上等により有形固定資産が1億16百万円、のれんが51百万円減少したためです。

この結果、総資産は252億3百万円となり、前連結会計年度末比9億68百万円減少しました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は23億44百万円となり、8億57百万円減少しました。主な要因は、法人税等の支払により未払法人税等が4億87百万円減少したほか、賞与引当金が2億78百万円、営業未払金が2億73百万円減少したためです。固定負債は32億77百万円となり、68百万円減少しました。主な要因は、借入金の返済により長期借入金が1億43百万円減少したためです。

この結果、負債合計は、56億22百万円となり、前連結会計年度末比9億26百万円減少しました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、195億81百万円となり、前連結会計年度末比42百万円減少しました。主な要因は、四半期純利益69百万円と配当金の支払1億12百万円により、利益剰余金が42百万円減少したためです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比2.7ポイント増の77.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年度3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,215,061	2,386,408
営業未収入金	597,814	390,323
商品及び製品	155,053	151,178
原材料及び貯蔵品	40,695	39,921
その他	443,761	570,041
貸倒引当金	2,135	1,484
流動資産合計	4,450,250	3,536,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,430,285	7,326,060
土地	10,813,849	10,815,276
リース資産(純額)	219,183	209,983
その他(純額)	158,146	153,675
有形固定資産合計	18,621,464	18,504,995
無形固定資産		
のれん	829,851	778,011
その他	203,489	193,799
無形固定資産合計	1,033,340	971,810
投資その他の資産		
長期貸付金	519,637	510,553
不動産信託受益権	515,265	624,659
差入保証金	659,977	660,458
その他	393,096	415,356
貸倒引当金	20,717	20,817
投資その他の資産合計	2,067,259	2,190,210
固定資産合計	21,722,064	21,667,016
資産合計	26,172,314	25,203,407

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	752,850	479,029
短期借入金	6,178	674
1年内返済予定の長期借入金	617,000	572,000
リース債務	67,011	67,991
未払法人税等	546,316	58,890
賞与引当金	448,205	169,273
役員賞与引当金	58,660	10,075
その他	706,030	986,589
流動負債合計	3,202,252	2,344,522
固定負債		
社債	1,500,000	1,500,000
長期借入金	1,225,500	1,082,500
リース債務	163,302	152,662
退職給付引当金	23,284	111,047
資産除去債務	142,216	143,335
その他	291,804	288,072
固定負債合計	3,346,108	3,277,616
負債合計	6,548,361	5,622,139
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,568,157	2,568,157
資本剰余金	5,488,615	5,488,615
利益剰余金	12,580,326	12,537,640
自己株式	1,013,146	1,013,146
株主資本合計	19,623,953	19,581,267
純資産合計	19,623,953	19,581,267
負債純資産合計	26,172,314	25,203,407

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業収益	4,392,697	4,197,177
営業費用	3,574,575	3,573,090
営業総利益	818,121	624,087
販売費及び一般管理費		
役員報酬	74,977	75,440
給料	100,521	83,452
賞与	5,316	6,216
賞与引当金繰入額	16,759	15,250
役員賞与引当金繰入額	7,725	10,002
貸倒引当金繰入額	1,210	550
のれん償却額	51,840	51,840
減価償却費	15,741	14,958
その他	183,735	173,213
販売費及び一般管理費合計	457,826	429,823
営業利益	360,294	194,263
営業外収益		
受取利息	3,395	3,185
受取配当金	5	5
雑収入	6,560	5,301
営業外収益合計	9,962	8,492
営業外費用		
支払利息	12,870	11,964
雑損失	1,504	1,548
営業外費用合計	14,375	13,513
経常利益	355,881	189,243
特別利益		
固定資産売却益	81	-
特別利益合計	81	-
特別損失		
固定資産除却損	184	47
リース解約損	890	-
特別損失合計	1,074	47
税金等調整前四半期純利益	354,887	189,195
法人税、住民税及び事業税	115,437	93,803
法人税等調整額	77,851	25,742
法人税等合計	193,288	119,546
少数株主損益調整前四半期純利益	161,598	69,649
少数株主利益	-	-
四半期純利益	161,598	69,649

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	161,598	69,649
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	161,598	69,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,598	69,649
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タライ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,658,348	353,081	306,751	74,515	4,392,697	-	4,392,697
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,110	-	-	1,196,998	1,204,109	1,204,109	-
計	3,665,459	353,081	306,751	1,271,514	5,596,807	1,204,109	4,392,697
セグメント利益 又は損失()	157,917	2,744	49,845	491,059	696,078	340,197	355,881

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額 340,197千円には、持株会社が連結子会社から受け取った配当金の相殺消去額 288,000千円、のれん償却額 51,840千円、債権債務の相殺消去に伴う貸倒引当金の調整額 357千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タライ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,544,310	316,741	252,515	83,609	4,197,177	-	4,197,177
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,659	-	-	1,504,876	1,512,535	1,512,535	-
計	3,551,969	316,741	252,515	1,588,485	5,709,712	1,512,535	4,197,177
セグメント利益 又は損失()	21,208	20,117	14,561	825,574	841,226	651,983	189,243

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額 651,983千円には、持株会社が連結子会社から受け取った配当金の相殺消去額 600,000千円、のれん償却額 51,840千円、債権債務の相殺消去に伴う貸倒引当金の調整額 143千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。